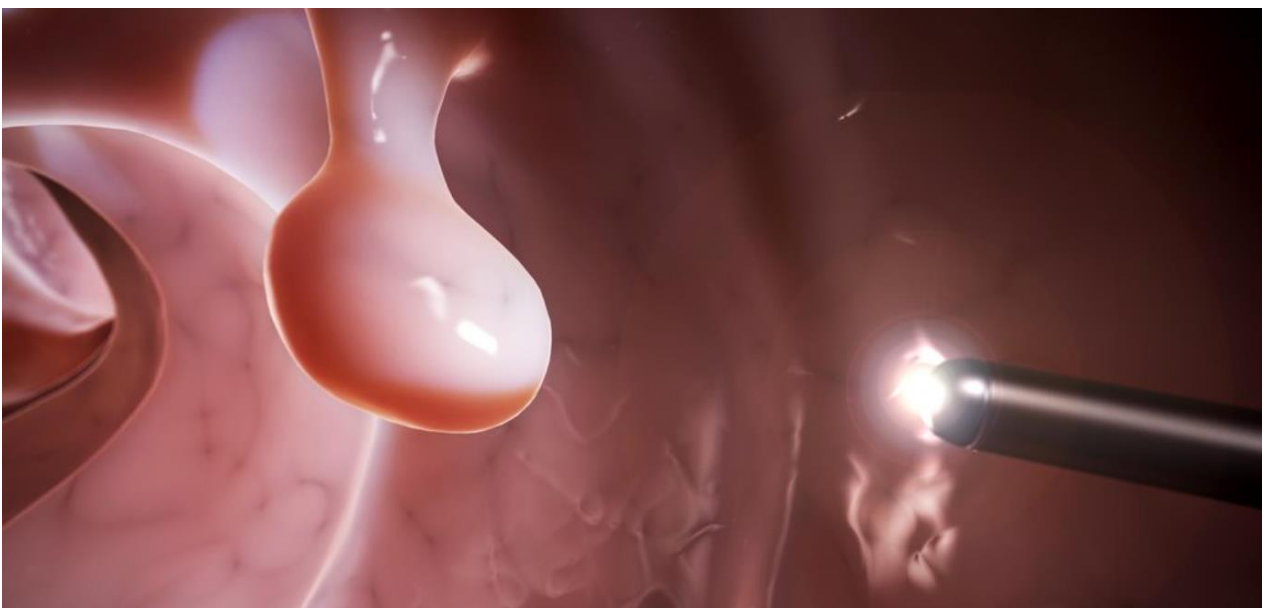


1回の大腸内視鏡検査による大腸がんの予防効果について

年齢 55 と 64 歳の間で 1 回の大腸内視鏡検査を施行することにより、大腸がんの発生率および死亡率が低下することが、Lancet 誌に掲載されました。



11.2年間の経過観察期間において、大腸癌の発生率は、43%、死亡率は33%減少していました。

